

令和2年度

第 1 年 次 入 学 者 選 拔
学 生 募 集 要 項

一般入試〔前期日程〕



豊橋技術科学大学

豊橋技術科学大学工学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

豊橋技術科学大学は、技術を支える科学を探究し、より高度な技術を開拓する学問としての“技術科学”の教育・研究を使命としています。この使命のもと、本学では学部・大学院一貫教育に重点を置いた特色ある技術科学教育を通じて、豊かな人間性と自然と共生する心を持ち、グローバルに活躍できる実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者を育成します。このため、本学では次のような人物を広く求めます。

1. 人と自然を愛し、地域社会やグローバル社会の発展に貢献する志を持つ人
2. 技術や科学を探究する志を持ち、それらの学習に必要な基礎学力がある人
3. 自ら積極的に学び、考え、行動し、技術科学の新しい地平を切り拓く志を持つ人

※各課程のアドミッション・ポリシーは10～12ページをご覧ください。

目 次

1	募集人員等	1
2	出願資格	2
3	出願手続	3
4	選抜の方法	5
5	合格者の発表	6
6	入学手続等	6
7	追加合格	6
8	欠員補充第2次募集	6
9	個人情報の取り扱いについて	7
10	志願状況の公表	7
11	入試情報の開示	7
12	安全保障輸出管理について	7
13	学生宿舎への入居の募集	7
14	その他	8
(参考)		
	第1年次入学者に対する入学料免除制度のお知らせ	9
	各課程の入学者受入方針	10

第1年次一般入試〔前期日程〕学生募集要項

○ 選抜の方式

令和2年度大学入学者選抜は、国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）については、分離・分割方式（「前期日程」、 「後期日程」）及び公立大学中期日程で実施されます。

なお、本学は、分離・分割方式（「前期日程」のみ）により実施しますので、本学の「前期日程」に出願する者は、他の国公立大学の「前期日程」に出願することはできません。

1 募集人員等

(1) 募集人員

学 部	課 程	募 集 人 員
		前 期 日 程
工 学 部	機械工学課程	45名
	電気・電子情報工学課程	
	情報・知能工学課程	
	応用化学・生命工学課程	
	建築・都市システム学課程	

(2) 募集の方法

課程を区別せず一括して入学者を募集します。

(3) 所属課程の決定

原則として、本人の希望する課程に配属します。ただし、希望人数の動向によっては、希望する課程に配属されない場合があります。

2 出願資格

次のいずれかに該当する者で、令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）のうち、本学が指定する教科・科目をすべて受験した者としてします。

なお、大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目については、5ページを参照してください。

- (1) 高等学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
- (3) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月卒業見込みの者
- (4) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものと及び令和2年3月31日までに修了又は該当する見込みの者
- (5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了する見込みの者
- (6) 専修学校の高等課程（修了年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和2年3月31日までに修了する見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (9) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの

注1 国公立大学の推薦入試、AO入試の合格者は、当該国公立大学が定める「推薦入学辞退手続き」により、入学辞退が認められていない限り、本学の個別学力検査を受験しても合格者となりませんので、注意してください。

注2 障害等（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度及び障害者自立支援法に準拠）を有する志願者は、受験上及び修学上配慮を必要とすることがありますので、4ページの「3 出願手続等 (4) 障害を有する入学志願者との事前相談について」により、出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。

注3 上記(9)、(10)において、本学の個別の入学資格審査を受けていない者は、本学のホームページをご覧になるか、令和2年1月21日（火）までに電話にて問い合わせてください。

〔問い合わせ先：8ページ参照〕

3 出願手続

(1) 願書受付期間

令和2年1月27日(月)～令和2年2月5日(水) 17時までに本学必着

※願書受付期間後に到着した願書は受理できません。

※持参の場合、受付時間は9:00～17:00(土曜日、日曜日は除く)です。

(2) 出願方法

出願方法は、次の4ステップです。

【ステップ1】インターネット出願登録

インターネット出願登録期間(令和2年1月22日(水)9時～令和2年2月4日(火))に下記URLからアクセスし、画面の指示にしたがって入力してください。

URL: <https://www.tut.ac.jp/exam/exam-webentry.html>

【ステップ2】検定料支払い

クレジットカードまたはコンビニエンスストア等で検定料を支払ってください。

検定料支払期限: 令和2年2月4日(火) 23時59分

【ステップ3】出願書類送付

「(3)出願書類等」を願書受付期間内に入試課入試実施係へ簡易書留速達で郵送もしくは持参により提出してください。

○出願書類等の郵送先

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学入試課入試実施係

※インターネットを利用することができない場合は、令和2年1月27日(月)17時までに入試課入試実施係までご連絡ください。

【ステップ4】受験票及び受験者心得等の印刷

出願書類を受理した後、受験票印刷可能日(2月13日(木))から受験票の印刷が可能となります。申込(出願内容)確認画面からログインし、受験時までに自身で必ず印刷(A4サイズ用の紙)してください。印刷した受験票は、試験当日必ず持参してください。

あわせて、以下のURLから受験者心得等をダウンロードし、受験上の注意事項等について試験日前に必ず確認してください。

URL <https://www.tut.ac.jp/exam/news.html>

(3) 出願書類等

(全員提出)

書 類 等	摘 要
1 出願確認票	出願登録後、A4サイズで印刷してください。
2 写 真 票	出願登録後、A4サイズで印刷し、写真を貼付してください。写真は、正面上半身脱帽(縦40mm×横30mm)で出願以前3か月以内に撮影したものを使用してください。
3 検 定 料	17,000円 出願書類の送付前に支払い手続きを済ませてください。海外からの検定料の支払いは、クレジットカードに限ります。
4 大学入試センター 試験成績請求票	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>前 令和2 センター試験成績請求票 国公立前期日程用</p> </div> を出願確認票の所定欄に貼付してください。
5 調 査 書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 ① 2ページ「2 出願資格」(1)(2)(3)(5)によって出願する者は、「令和2年度大学入学者選抜実施要項(令和元年6月4日付け元文科高第102号通知)」に基づき、出身学校長が所定の様式を使用して作成し、厳封したものを提出してください。 ② 上記①以外の者は、出願資格を有することの証明書及び成績証明書をもって調査書に代えることができます。 ※本学において、個別の入学資格を認められた者は、提出の必要はありません。

(該当者のみ提出)

6 その他	
① 合格証明書・合格成績証明書等	高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）合格により出願する者は、文部科学大臣発行の合格証明書・合格成績証明書を提出してください。
② 入学資格認定書の写し	本学において、個別の入学資格を認められた者は、入学資格認定書の写しを提出してください。
③ 住民票又は在留カード（外国人登録証明書）（写）	（現に日本国に在住している外国人のみ）国籍・在留資格・期間が記載されたものとしします。
④ 受験上の配慮事項決定通知書の写し	大学入試センター試験を「受験上の配慮」により受験した者は、同センター発行の「受験上の配慮事項決定通知書」の写しを提出してください。 (注) 上記に該当する場合は、必ず出願の前に下記(4)「障害等を有する入学志願者との事前相談について」により申し出てください。

(注) 出身学校長は、調査書の作成にあたり、学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物・学力ともに特に優秀で、学校長が責任をもって推薦できる者については、「学習成績概評」欄に(A)と標示してください。なお、この場合には「備考」欄にその理由を明示してください。

(4) 障害を有する入学志願者との事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害等（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度及び障害者自立支援法に準拠）がある者は、受験上及び修学上配慮を必要とすることがありますので、出願の前に、本学に申し出てください。

また、申し出に基づき相談が必要となった場合は、以下によります。

① 相談申請の期日

令和2年1月20日（月）まで

② 相談の方法

相談申請書（様式任意）に健康診断書等の必要書類を添付することとし、必要な場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

③ 連絡先

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学入試課入試実施係 TEL: 0532-44-6581

ただし、前記による相談を必要としない程度の障害である場合は、相談申請の期日以降であっても受け付けることがあります。

この場合、申し出の内容によっては、本学の試験日までに対応できず、特別な措置が講じられない場合もありますので、できる限り早めに申し出てください。

(5) その他

① 納入された検定料は、次に掲げる場合を除き、いかなる事情があっても返還しません。

ア. 検定料を二重に払い込んだ場合

イ. 検定料を払い込んだが、本学に出願しなかった場合

ウ. 出願受付後、出願無資格者であることが判明した場合（本学が指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していないことが判明した場合）。**なお、この場合、理由の如何を問わず、本学の個別学力検査を受験することはできません。**

金額については、上記ア・イに関しては17,000円を、ウに関しては、一部（13,000）円を返還します。

なお、返還手続きに関する詳細は、本学から別途該当者に個別に連絡します。

② 出願書類に不備がある場合は、受理しません。

③ 一度受理した出願書類は返還しません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。

ただし、現住所（連絡先）に変更が生じた場合は、速やかに届け出てください。

4 選 抜 の 方 法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査及び調査書又は成績証明書の総合判定により行います。

(1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

受験を要する教科・科目			受験を要する 教科・科目数
国 語	「国語」	1 科目	5 教科 7 科目
地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	10 科目から 1 科目選択	
公 民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」		
数 学	「数学Ⅰ・数学A」	1 科目	
	「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」*1, 「情報関係基礎」*1	3 科目から 1 科目選択	
理 科	「物理」, 「化学」, 「生物」	3 科目から 2 科目選択	
外 国 語	「英語」*2	1 科目	

(注1) *1 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」の科目を選択できる者は、高等学校または中等教育学校において当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

*2 「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニングテスト」を含みます。（リスニングテストを受験しなかった者については、「英語」を受験したことにはなりません。但し、出願時に受験特別措置としてリスニングテストを免除された者を除きます。）

(注2) 「地理歴史」・「公民」から2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

(注3) 過去の大学入試センター試験の成績は利用しません。

(2) 個別学力検査の教科・科目

教科	科 目	摘 要
数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A*1・数学B*2	*1 : 「場合の数と確率」及び「図形の性質」 *2 : 「数列」及び「ベクトル」

(3) 個別学力検査の日時・場所

試験当日、本学の受験票及び大学入試センター試験受験票を必ず持参してください。

期 日	教 科	時 間	場 所
令和2年2月25日(火)	数 学	10:00~12:00 (120分)	豊橋技術科学大学

(4) 大学入試センター試験及び個別学力試験の配点

区 分	国 語	地理歴史 公 民	数 学	理 科	外 国 語	計
大学入試センター試験	200	100	200	300	300	1,100
個別学力検査	—	—	300	—	—	300

大学入試センター試験の外国語（英語）の配点は、筆記240点、リスニング60点とします。

5 合格者の発表

令和2年3月6日（金）10時

本学において受験番号を掲示発表するとともに、合格者には同日付で「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を送付します。（電話等による可否の照会には、一切応じません。）

また、参考として本学ウェブサイト（入試情報）にも同日11時に合格者受験番号を掲載します。

6 入学手続等

入学手続の方法は、郵送又は持参（持参受付は3月13日及び3月15日のみ）とします。

(1) 入学手続期限

令和2年3月15日（日）17時必着

- ① 上記期限までに入学手続を完了しなかった者は、本学への入学を辞退したものと取り扱い、これ以降の入学手続は認められません。
- ② 1つの国公立大学に入学手続を完了した者は、それ以後にこれを取り消して、他の国公立大学へ入学手続を行うことはできません。したがって、本学に入学手続を行った場合は、他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。
- ③ 入学手続時には、令和2年度大学入試センター試験の受験票を併せて提出してください。
- ④ 卒業・修了見込みで受験した者が、令和2年3月に卒業・修了できない場合は、入学を許可しません。

(2) 納入経費（予定額）

入学料 282,000円

授業料前期分 267,900円（年額535,800円）

なお、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料を適用します。

7 追加合格

入学手続期間終了後、入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、令和2年3月28日（土）以降追加合格及び入学手続について、該当者に対して電話等により照会します。

入学の意志について、本人（保護者等の代理は認められません。）に確認をしますので、本人の所在を明らかにし、連絡が取れるようにしておいてください。

- (1) 入学手続期間は、合格通知を受けた時から令和2年3月31日（火）17時までとし、手続の方法は、持参又は郵送（期間内必着）とします。

なお、入学手続期間内に入学手続を完了しなかった者は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。

- (2) 入学手続時の必要経費は、前記「6 入学手続等 (2) 納入経費」を参照してください。また、入学手続時には、令和2年度大学入試センター試験受験票を併せて提出してください。
- (3) 追加合格により本学に入学手続を行った者は、他の国公立大学に追加合格しても入学手続を行うことはできません。

8 欠員補充第2次募集

- (1) 追加合格を行っても、なお、募集人員に欠員が生じた場合は、欠員補充第2次募集を実施することがあります。
- (2) 欠員補充第2次募集の細目については、令和2年3月下旬に本学ウェブサイトや報道機関等を通じて発表しますが、欠員補充第2次募集に出願できる者は、令和2年3月24日（火）の時点でいずれの国公立大学にも合格していない者及び合格していてもいずれの国公立大学にも入学手続をしていない者としてします。
- (3) 欠員補充第2次募集の出願後、他の国公立大学へ入学手続を行った場合は、受験しても入学許可は得られません。
- (4) この欠員補充第2次募集へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限られています。

9 個人情報の取り扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人豊橋技術科学大学個人情報保護規程に基づき、出願書類に記載された住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、適切に管理し、下記利用目的以外には使用しません。

- ①入学者選抜、合格者の発表、入学手続及びこれらに付随する事項
- ②入学後の学務業務における学籍・成績管理
- ③入学者選抜方法改善のための統計データ

なお、国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、推薦入学の合格者及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願大学先の国公立大学に送達されます。

10 志願状況の公表

次の期間中、本学ウェブサイト (<https://www.tut.ac.jp/exam/condition.html>) で志願状況をお知らせします。

- (1) 実施期間 令和2年1月28日(火)～2月6日(木)
- (2) 内 容 前日午後5時現在の志願者数及び志願倍率

11 入試情報の開示

本学では、志願者本人からの請求に基づいて試験成績等を次により開示します。

- (1) 開示する試験成績等の内容
 - ① 得点(本学が合否判定に使用した大学入試センター試験の科目の合計点及び個別学力検査の合計点)
 - ② 本学の合格最低点(大学入試センター試験及び個別学力検査の合計)から20点きざみの区分で、請求した志願者がどの区分に属するかを開示します。
 - ③ 出願書類として提出された調査書を「指導上参考となる諸事項」及び「備考」欄を除き開示します。
- (2) 開示の請求方法
 - ① 得点及び本学の合格最低点
令和2年5月8日(金)～令和2年5月27日(水)の間に、「受験票」「開示願」「414円の郵便切手を貼付した返信用封筒(長形3号(120mm×235mm)、郵便番号、住所、志願者氏名を明記)」を本学入試課に提出してください。「開示願」の様式は、4月下旬以降本学ウェブサイト「入試情報」に掲載します。
 - ② 調査書
令和2年4月16日(木)～令和2年5月1日(金)の間に、入試課窓口において、志願者本人が「受験票(第1年次・一般入試)」を持参し、「開示願」に記入のうえ、申し込みしてください。なお、申し込みは志願者本人に限ります。代理人からの申し込みや、電話での申し込みはできません。
- (3) 開示の時期
 - ① 得点及び本学の合格最低点
請求受付から1ヶ月以内に、簡易書留郵便で志願者本人に通知します。(併せて受験票も返却します)
 - ② 調査書
(2)②による手続きが完了した者に対して、閲覧により開示します。

12 安全保障輸出管理について

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人豊橋技術科学大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

13 学生宿舎への入居の募集

本学の学生宿舎は、大学の敷地内にあります。入居申請については、家計困窮度を考慮し選考します。なお、申請者多数の場合は入居できないことがあります。入居希望者は「学生宿舎生募集要項」を請求してください。

請求期間：令和2年2月3日(月)から2月17日(月)(必着)

※令和2年2月24日(月)迄に返信がなかった場合、下記までお問い合わせください。

請求方法：下記宛に、返信用封筒（角形2号 [240 mm×332 mm] の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、必ず210円分の切手を貼ってください。）を送付してください。

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学 学生課生活支援係
（封筒の表に必ず「学生宿舎生募集要項請求」と朱書きしてください）

申請期限：令和2年3月6日（金）（必着）

問合せ先：豊橋技術科学大学 学生課生活支援係

TEL：0532-44-6558 E-mail：seikatsu@office.tut.ac.jp

本学の学生宿舎は、以下のとおりです。寄宿料の他に、毎月、共益費1,000円・光熱水料3,000円～9,000円が必要です。また、入居時に預り金（保証金）30,000円（TUTグローバルハウスは、40,000円）が必要です。

なお、これらの金額は令和元年10月現在であり、変更される可能性があります。

学生宿舎	部屋数	入居資格	設備等
A～D棟	400	学部男子学生 （留学生を含む）	面積：洋間・約10㎡ 寄宿料：7,000円/月額 設備：①ベッド ②机・椅子 ③エアコン ※キッチン、浴室、トイレ、シャワーは共同
E棟	99	大学院男子学生 （留学生を含む）	面積：洋間・約13㎡ 寄宿料：11,000円/月額 設備：①ベッド ②机・椅子 ③エアコン ④流し台 ・一口ガスコンロ ⑤ユニット式トイレ・シャワー
F棟	96	学部・大学院女子学生 （留学生を含む） 大学院男子学生	面積：洋間・約17㎡ 寄宿料：20,000円/月額 設備：①ベッド ②机・椅子 ③エアコン ④流し台・プレートヒーター ⑤浴室 ⑥トイレ
TUT グローバル ハウス (G棟)	180	グローバル技術 科学アーキテクト 養成コース学生	面積：洋間（個室）・約9㎡、洋間（リビング）・約21㎡ ※1ユニット5名入居のシェアハウス型 寄宿料：24,270円/月額（インターネット使用料含む） 設備（個室）：①エアコン ②移動式棚 ③クローゼット 設備（共用）：①システムキッチン（IHヒーター） ②冷蔵庫 ③電子レンジ ④ダイニングテーブル・椅子 ⑤食器棚 ⑥洗濯機 ⑦衣類乾燥機 ⑧掃除機 ⑨洗面化粧台 ⑩シャワー ⑪トイレ

14 その他

(1) 入学入試センター試験の受験票は、試験当日、必ず持参してください。

また、入学手続の際にも必要となりますので、紛失・汚損等のないよう十分注意してください。

(2) 志願者又は主たる家計支持者が自然災害等により、被災し、災害救助法の適用を受けた場合、各種入学試験（学部・大学院）において、検定料を免除することがあります。該当すると思われる場合は、事前に入試課入試実施係までお問い合わせください。

(3) 台風・雪・地震等による災害、試験実施上の事故等により、試験が所定の期日に実施できない場合又は交通機関の乱れ等による試験開始時刻変更のお知らせは下記のサイトで情報提供します。



【スマホ・携帯電話サイト】

URL：<https://daigakuje.jp/tut/>

（携帯電話・スマートフォン・パソコンからアクセスできます）

(4) この要項に追加すべき事項がある場合は、本学ウェブサイト（入試情報）でお知らせします。

(5) 入学試験に関する問い合わせ先は、次のとおりです。

電話での問い合わせは、志願者本人が行ってください。

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学 入試課入試実施係

TEL：0532-44-6581 E-mail：nyushi@office.tut.ac.jp

第1年次入学者に対する入学料免除制度のお知らせ

本学では、豊かな人間性と国際的視野および自然と共生する心を持つ実践的・創造的かつ指導的な技術科学者の育成を目指しています。

特に、学業優秀・深い教養・国際性を備える次世代を先導する人材を養成するため、「豊橋技術科学大学 **優秀学生支援制度**」があります。

この制度には、本学の使命に合致した第1年次入学者に対し、入学料の全額を免除する制度を設けています。

免除の対象者は、令和2年度第1年次入学者選抜（下記の入試）で合格し、それぞれ基準を満たしている者としてします。

■ 免除対象者

1. 推薦入試

全学総得点順位表において最上位1名。（該当者なしの場合があります）

2. 一般入試

全学総得点順位表において最上位1名。（該当者なしの場合があります）

3. グローバル技術科学アーキテクト養成コース入試

全学総得点順位表において上位5名。（該当者なしの場合があります）

■ 免除内容

1. 推薦入試, 2. 一般入試

入学料 282,000 円（全額免除） 参考（平成31年度）

3. グローバル技術科学アーキテクト養成コース入試

入学料 141,000 円（半額免除） 参考（平成31年度）

◎優秀学生支援制度について

本学ウェブサイト <https://www.tut.ac.jp/student/program.html#anc02>

お問い合わせ先

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学 入試課入試企画係

TEL: 0532-44-6583 FAX: 0532-44-6582

E-mail: boshu@office.tut.ac.jp

各課程の入学者受入方針

〔機械工学課程〕

機械工学課程では、機械工学の基盤となる力学、制御、システム工学、材料工学、生産加工学、エネルギー変換工学等の諸学問について基礎的知識を持ち、それらの知識を「ものづくり」に展開できる意欲と能力を持った実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・ものづくりに強い関心を持ち、その発展に寄与する意欲と行動力がある人
- ・自然科学、数学、情報技術に関する基礎的な内容を理解し、物事を俯瞰的・論理的に捉えることができる人
- ・機械工学全般についての幅広い知識や技術の修得に強い関心を持ち、主体的・自律的・積極的に学ぶ意欲がある人

入学までに履修が望まれる教科・科目等

【高等学校普通科等から入学を希望する者（推薦入試、一般入試）】

各高等学校が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に、工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学、理科、国語、英語に関しては、下記の内容を身につけていることが望まれます。

数学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学Bの知識と論理的思考能力

理科：物理基礎，物理，化学基礎，化学の基礎的な知識

国語・英語：基礎的な読解力，表現力，コミュニケーション能力

〔電気・電子情報工学課程〕

電気・電子情報工学課程では、電気・電子情報工学分野の発展を支える電気電子材料やエネルギーシステムなどの基盤技術分野や、集積化した電子デバイスやセンサー分野、無線通信システムや情報ネットワークなどの情報通信技術分野で活躍できる実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・電気・電子工学，情報通信工学，物質材料科学に関係する知識や技術に強い関心を持つ人
- ・旺盛な好奇心を持ち能動的で自覚的に勉学に取り組む意欲がある人
- ・技術を科学的にとらえるための数学と物理学の基礎を理解し応用できる人
- ・英語および国語の学習に積極的に取り組み高度な表現力・コミュニケーション能力を養おうと考える人

入学までに履修が望まれる教科・科目等

【高等学校普通科等から入学を希望する者（推薦入試、一般入試）】

各高等学校が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に、工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学、理科、国語、英語に関しては、下記の内容を身につけていることが望まれます。

数学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学活用に関する知識と論理的思考能力

理科：物理基礎，物理，化学基礎，化学に関する基礎的な知識

国語・英語：基礎的な読解力，表現力，コミュニケーション能力

〔情報・知能工学課程〕

情報・知能工学課程では、次世代の高度・大規模情報システムのための技術、生命・自然・社会の知に基づく新しい情報科学およびこれらの応用技術を修得し、あらゆる産業分野において先端情報システムの創造を担うことのできる実践力・創造力・指導力を備えた技術者・研究者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・情報工学・情報通信工学ならびに情報科学に広く興味を持ち、それらの最先端分野の開拓や応用分野への展開に意欲がある人
- ・自然科学、数学、情報に関する基礎的な知識、論理的思考能力を持つ人
- ・グローバルコミュニケーション能力を身につけ、国内外での活躍を志す人

入学までに履修が望まれる教科・科目等

【高等学校普通科等から入学を希望する者（推薦入試、一般入試）】

コミュニケーション能力として相手に自分の考えを説明する力があることが望まれます。各高等学校が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について大学での勉学の基礎を履修しておくことが望まれますが、特に工学部における授業内容を理解するために、数学、理科、国語、英語に関しては、下記の内容を身につけていることが望まれます。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bまたは理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱの知識と論理的思考能力

理科：物理基礎、物理、化学基礎、化学、生物基礎、生物の基礎的な知識

国語・英語：基礎的な読解力、表現力、コミュニケーション能力

〔応用化学・生命工学課程〕

応用化学・生命工学課程では、応用化学・生命科学分野に関する基礎的な知識を持ち、それらの知識を専門として深めることで次世代を支える技術として展開できる意欲と先端技術・知識を活用して技術的課題を解決する能力を持った実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・幅広い人間性と考え方、倫理観と社会性を有し、人類と自然との共生、公共の福祉を考慮し、持続可能社会の構築・発展に貢献できる技術者・研究者を志す人
- ・応用化学・生命科学分野の先端技術・知識を活用して技術的課題を解決できる技術者・研究者を志す人
- ・グローバルコミュニケーション能力を身につけ、国内外で活躍できる技術者・研究者を志す人

入学までに履修が望まれる教科・科目等

【高等学校普通科等から入学を希望する者（推薦入試、一般入試）】

各高等学校が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に、工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学、理科、国語、英語に関しては、下記の内容を身につけていることが望まれます。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bの知識と論理的思考力

理科：物理基礎、化学基礎、生物基礎の3科目に加え、物理、化学、生物の中から1科目以

上の基礎的な知識

国語・英語：基礎的な読解力，表現力，コミュニケーション能力

〔建築・都市システム学課程〕

建築・都市システム学課程では，建築分野と社会基盤分野の専門技術をバランスよく修得し，都市・地域の建築・社会基盤施設およびそれらを取りまく環境を，将来を見据えてデザインするとともに，それらをシステムとしてマネジメントするための能力を有する実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者の養成を目指しています。そのため，次のような人物を広く求めます。

- ・自然環境，社会システム，地域文化など人間生活に関わる幅広い問題について関心を持つ知的好奇心の豊かな人
- ・建築・社会基盤分野の諸問題の論理的解明について学ぶことのできる基礎力を身につけた人
- ・創意工夫をこらした発想に富み，難しい問題に対しても主体的，積極的に取り組む意欲がある人

入学までに履修が望まれる教科・科目等

【高等学校普通科等から入学を希望する者（推薦入試，一般入試）】

各高等学校が定める教育課程に従い，すべての教科，科目について，大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に，工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学，理科，国語，英語，社会に関しては，下記の内容を身につけていることが望まれます。

数学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学活用の知識と論理的思考能力

理科：物理基礎，物理，化学基礎，化学，生物基礎，生物の基礎的な知識

国語・英語：基礎的な読解力，表現力，コミュニケーション能力

社会：地理歴史，公民の基礎的な知識と社会的素養